

神戸〈ゆうゆうの里〉入居者インタビュー

「食事と環境 ゆうゆうの里が どこより素晴らしい！」

あいだに まつこ
相谷 末子 様

「3箇所目の終の棲家」神戸〈ゆうゆうの里〉

実はゆうゆうの里で3箇所目の終の棲家になります。

1箇所目は、新設の某有料老人ホームに魅せられて入居。食事は、当日食堂に行って和洋中を選ぶ事ができる所でしたが、どれを食べてもイマイチ…有名温泉と同じ泉質の大浴場も魅力でしたが、循環式でぬるく、8割ほどの湯量…新設でサービス内容の事でも色々なトラブルもあり、結局1年半で退去しました。

2箇所目は、分譲の高齢者マンション。隣のホテル料理長の食事やサウナ付大浴場で朝風呂もあることに魅力を感じました。ところが、ホテルメニューの食事は、朝食の内容はほぼ毎日同じ…繰り返しの夕食メニューにもすぐに飽きがきてしまいました。介護の安心も分譲型にはない…そして、1年半で退去。

3箇所目は、いろいろなホームを見学し検討した所、行き着いたのが、神戸〈ゆうゆうの里〉。何より、食事が本当に良い!!家庭的で季節感があり、豊富なレパートリー。そしてどこよりもおいしい。10日ごとにメニューを配布してくれるので、毎回とても楽しみにしています。長年の実績があるのでサービスも充実していて、とても安心を感じています。主人が夜中に急に体調が悪くなった時も、診療所ですぐに先生に対応してくれて、事なきを得ました。契約して6年目を迎えますが、今でもとても満足して毎日楽しく暮らしています。



主人も、毎日の食事を
とても楽しみにしています!

プライバシーが守られている

以前のホームは高層の建物でエレベーターも2機程度しかなく、食堂やお風呂へ行くたびに、色々な人の目について噂がとびかい人間関係が複雑でした。

ゆうゆうの里は、400名以上の方が暮らしていると聞いて、入居前は人間関係が大変なのではないかと不安に感じていました。ところが、1万坪以上のゆったりした敷地で低層の建物に分かれて暮らしているので、日頃そんなにたくさんの人が住んでいる感じが全くありませんし、他の人に干渉されたりすることがなくプライバシーが守られていてとても暮らし易いと感じています。

「楽しく踊ろう会」発足



夏祭り 婦人会の皆様と
(一番左 相谷様)

踊る事が大好きで、民踊を始めて40年以上になります。毎日、踊りの稽古や指導で飛び回っています。

ゆうゆうの里でも、去年の夏祭りにあわせて「盆踊り」の練習をはじめた事がきっかけで“楽しく踊ろう会”を今年発足しました。音楽に合わせて手足を動かすということは、初めはぎこちなくてもだんだん楽しくなり、快い気分と共に踊る楽しさを味わえるようになります。今年も、夏祭りを盛り上げるのにみんなで一役買いました。

日本舞踊も大好きで、一年に数回舞台に上がります。舞台上演するときの緊張感や楽しさは何にも代えられません。腰や膝が少し痛くなってきていますが、できる限りいつまでも踊りを続けて行きたいと願っています。



日本舞踊

環境の良さも大きな魅力です

最近、主人が農園を借りて野菜作りを始めました。

きゅうり、トマト、紫玉葱、サラダ菜等、毎朝、主人特製の野菜をサラダにして食べています。収穫したてのきゅうりなんて、スーパーで買うものと味が全然違います!!こんな楽しみがあるのも、ゆうゆうの里の環境があってこそです。

ゆうゆうの里に来るまで、色々とありましたがやっと心から安心して暮らすことができ、日々幸せを感じています。